津波ハザードマップ、土砂災害ハザードマップはしおりの最後の封筒に入っています。災害の恐れのある区域や避難場所などを確認しておきましょう。

防災のしおり

改訂版

すぐに持ち出せる場所に
保管してください。



水害



土砂災害



地震



津波



海陽町

令和2年3月作成



はじめに

海陽町防災のしおりは町内で起こりうる水害、土砂災害、津波、地震などの自然災害や避難所などの情報をまとめたものです。

皆さま一人ひとりが身近にある災害の危険を知り、いざという時に冷静に行動できるよう、日頃から備えておきましょう。

また、しおりには洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、津波ハザードマップを掲載しており、被害の想定範囲や避難所などを示しています。

大切な命を守るために、ハザードマップをぜひ活用してください。

- 自宅や学校、職場など、地域にどんな災害の危険性があるか確認しましょう。
- 自宅などからの最寄りの避難所、避難場所、避難経路を確認し、災害時の避難行動を考えましょう。
- 家庭や職場、地域での自助、共助の取組にハザードマップを利用しましょう。

「海陽町防災のしおり」は
「ふるさと納税」を活用し作成しました。



海陽町イメージキャラクター**「ふるるん」**

海陽町を流れる清流海部川の妖精。頭の山と流れる川がチャームポイント。
特技は大きなお腹をふるふる揺らすこと。

目次

防災のしおり

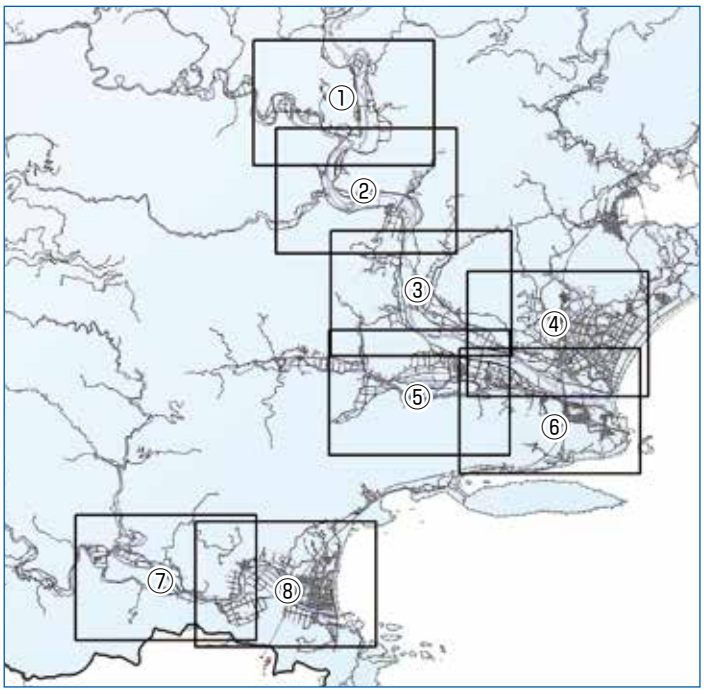
●避難所一覧 ……3
●公共施設等一覧 ……4

水害・土砂災害
●水位情報周知河川／海部川・宍喰川洪水浸水想定区域図（計画規模）……5
●～水害～ ……6
●～土砂災害～ ……7
●水害・土砂災害避難情報（5段階の警戒レベル）……8
●避難情報の伝達について……9

地震・津波
●南海トラフ地震……10
●南海トラフ地震臨時情報 ……11
●地震発生後の避難行動マニュアル ……12～13
●～津波～ ……14

●非常持出品・備蓄……15
●災害伝言ダイヤル・伝言板 ……16
●いざという時の応急処置……17
●地域防災 ……18～19

図面の配置【洪水ハザードマップ】



①海南地区（相川・若松）……20～21
②海南地区（相川）
海部地区（大井）……22～23
③海南地区（熟田・吉野）
海部地区（吉田・富田）……24～25
④海南地区（大里・四方原・多良）……26～27
⑤海部地区（芝・中山・野江）……28～29
⑥海部地区（奥浦・高園・鞆浦）……30～31
⑦宍喰地区（尾崎・芥附）……32～33
⑧宍喰地区（久保・宍喰浦・日比原）…34～35

津波ハザードマップ・
土砂災害ハザードマップ
最後のページの
封筒に入っています

避難所一覧

指定避難所（災害区分別）　○…避難所指定　×… 利用不可　－… 利用外　★…拠点避難所（案）　△…崩壊対策工事済

番号	施設名	電話番号	洪水	地震	土砂災害	津波	高潮	大規模な火事	内水氾濫
1	浅川漁村センター	73-1001	○	○	○	×	○	○	○
2	旧浅川小学校（浅川町民体育館）		×	○	○	×	×	★	○
3	海陽町役場　海南庁舎　2階	73-1234	○	○	○	○	○	○	×
4	海南小学校	73-0036	×	○	○	○	○	○	×
5	海陽中学校	73-0074	○	○	○	○	○	○	○
6	海部高等学校	73-1371	★	★	★	★	○	★	○
7	松原公民館	73-2385	○	○	○	○	○	○	○
8	浜崎地区集会所兼避難所	55-9042	○	○	○	○	○	○	○
9	まぜのおか体育館	74-3737	★	★	★	★	○	★	○
10	海南文化村	73-3100	○	○	○	○	○	○	○
11	海南子ども館	74-3121	×	×	○	×	○	○	×
12	川上集会所	75-2001	○	○	○	－	－	○	○
13	旧川上小学校（神野町民体育館）	55-6020	★	○	×	－	－	★	○
14	小川集落センター	55-9030	○	×	×	－	－	○	○
15	平井集落センター	55-9029	－	×	×	－	－	○	○
16	相川健康管理センター	55-9031	○	○	○	－	－	○	○
17	大内生活改善センター	55-9028	－	×	×	－	－	○	○
18	鞆浦福祉会館	55-9046	×	×	○	×	×	○	○
19	海陽町役場　海部庁舎（海部公民館2階以上）	73-1311	○	★	★	×	○	★	○
20	海部小学校　2階以上	73-0201	○	○	△	×	○	○	○
21	海部文化センター　2階	73-3472	○	○	○	○	○	○	○
22	野江老人憩いの家　2階以上	73-3563	○	○	○	○	○	○	○
23	野江町民体育館		×	○	○	★	○	○	×
24	海陽町役場　宍喰庁舎（町民センター）　3階	76-3111	★	○	○	×	○	★	○
25	宍喰中学校　3階以上	76-2048	○	○	△	○	○	○	○
26	宍喰小学校	76-2009	×	○	○	×	×	○	×
27	日比原センター	55-9066	○	×	×	×	－	○	○
28	日山会館	55-9067	×	○	○	×	－	○	○
29	馳馬集会所	55-9068	×	×	○	×	－	○	○
30	八山集会所	55-9069	×	×	×	×	－	○	×
31	中里農業構造改善センター	55-9071	○	×	×	－	－	○	○
32	広岡集会所	55-9070	○	×	○	－	－	○	○
33	角坂集会所	55-9072	○	○	○	－	－	○	○
34	小谷集会所	55-9074	○	×	×	－	－	○	○
35	塩深集会所	55-9073	○	○	○	－	－	○	○
36	小谷西集会所	55-9075	○	○	○	－	－	○	○
37	船津公民館	55-9076	○	○	×	－	－	○	○
38	久尾公民館	55-9077	×	○	○	－	－	○	○
39	竹ヶ島改善センター　2階	55-9063	○	×	×	×	○	○	○
40	那佐集会所　2階	55-9065	○	×	○	×	○	○	○
41	正梶集会所	55-9061	○	×	×	×	×	○	○

公共施設等一覧

●公共施設一覧

海陽町役場 海南庁舎	73-1234
海陽町役場 海部庁舎	73-1311
海陽町役場 宍喰庁舎	76-3111
海陽町役場 浅川出張所	73-1001
海陽町役場 川上出張所	75-2001
海南文化村	73-3100
松原ふれあい会館	73-2385
海部文化センター	73-3472

●警察・消防

海部消防組合 海南消防署	73-0999
牟岐警察署	72-0110
牟岐警察署 浅川駐在所	73-1064
牟岐警察署 大里駐在所	73-0867
牟岐警察署 奥浦駐在所	73-0878
牟岐警察署 宍喰駐在所	76-2029

●福祉避難所

福祉避難所は、最初から避難所として利用することはできません。災害時に必要に応じて開設される避難所であり、一般の避難所での生活に支障をきたす障がい者等の災害時要配慮者を受け入れるための避難所です。

海部郡特別養護老人ホーム事務組合 海南荘
グループホーム まぜの里
老人保健施設 ジャンボ緑風会
グループホーム ぽかぽか

●雨量観測所

樫木屋集会所	海陽町小川字下樫木屋
消防団川上第4分団屯所	海陽町小川字小川
大内生活改善センター	海陽町相川字上大内
消防団川上第3分団屯所	海陽町相川字岡本
小谷西集会所	海陽町小谷字小野
寒ヶ瀬（県）	海陽町平井字寒ヶ瀬
神野（県）	海陽町神野字七川
海陽（アメダス）	海陽町四方原字杉谷
奥浦（県）	海陽町奥浦字鹿ヶ谷
宍喰（県）	海陽町宍喰浦字中角
大井（県）	海陽町大井字宮ノ前
浅川（県）	海陽町浅川字川ヨリ東
久尾（県）	海陽町久尾字久尾
小谷（県）	海陽町小谷字落合

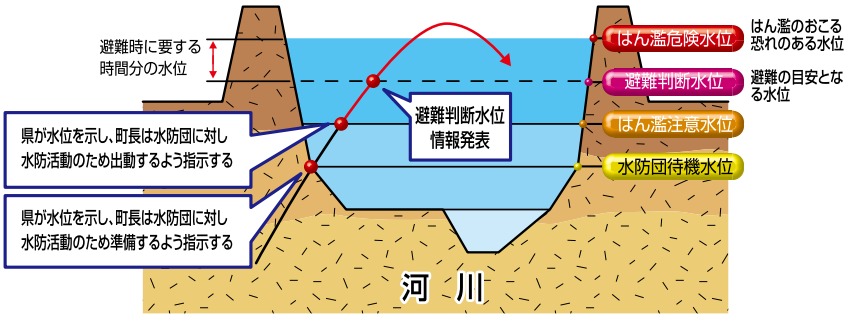
●ヘリコプター緊急発着場

川上農村広場	海陽町神野字柿谷136
南阿波ピクニック公園	海陽町浅川字ヒムロ谷59
蛇王運動公園	海陽町浅川字西福良23
奥浦町民グラウンド	海陽町奥浦字堤ノ外32
野江町民グラウンド	海陽町野江字西ノ内22
漁り火の森公園	海陽町奥浦字鹿ヶ谷58-7
宍喰中学校グラウンド	海陽町久保字北田5
宍喰県民グラウンド	海陽町久保字北田98-1
海南文化村駐車場	海陽町四方原字杉谷73
県立海部高等学校 第2グラウンド	海陽町四方原字馬谷1
松原町民グラウンド	海陽町大里字松原34-5

水位情報周知河川

水位情報周知河川

海部川及び宍喰川は、水防法による水位情報周知河川として、洪水で氾濫した場合の浸水想定区域図が、徳島県から公表されています。
この水位情報は、以下の水位局の水位情報が一定の基準を超えた段階で、海陽町役場を通して、皆さんにお知らせすることになっています。



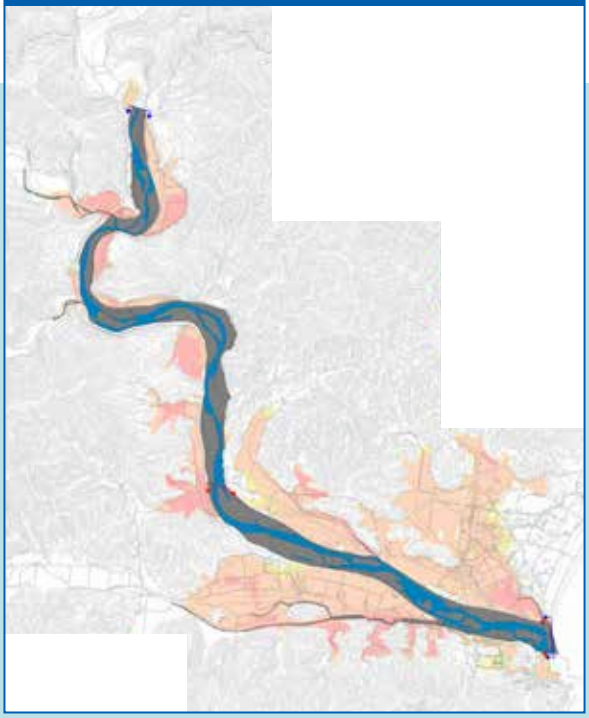
河川名	基準水位観測所	地先名	水防団待機水位（通報水位）	はん濫注意水位（警戒水位）	避難判断水位（特別警戒水位）	はん濫危険水位（危険水位）
海部川	神野	海陽町神野字七川1－1	2.70m	4.10m	―― m	―― m
	多良	海陽町多良	2.70m	3.30m	5.10m	5.50m
宍喰川	宍喰(内)	徳島県海部郡海陽町大字宍喰浦中角1-1	―― m	―― m	―― m	―― m
	宍喰(外)	徳島県海部郡海陽町大字宍喰浦中角1-1	―― m	―― m	―― m	―― m
	日比原	徳島県海部郡海陽町日比原	2.10m	2.30m	2.60m	3.10m

洪水浸水想定区域図(計画規模)について

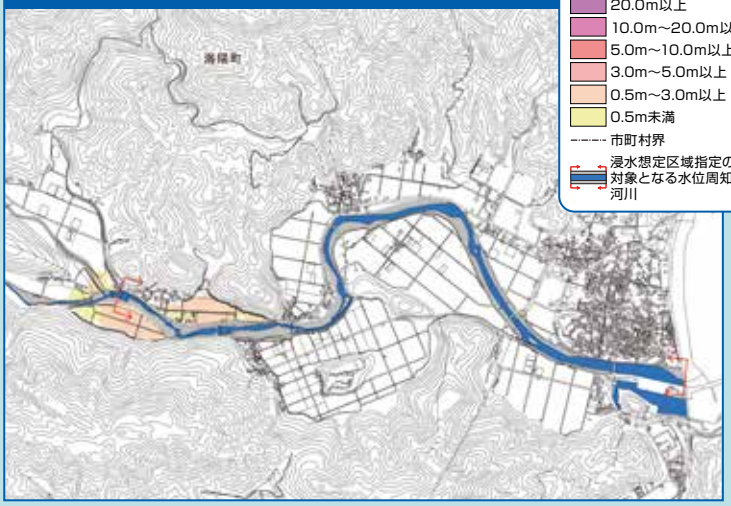
この図は指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である、海部川は概ね50年に1回程度、宍喰川は概ね30年に1回程度起こる大雨【海部川流域の6時間総雨量294mm、宍喰川流域の24時間総雨量423mm】が降ったことにより、海部川及び宍喰川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。

海部川水系海部川 洪水浸水想定区域図(計画規模)



宍喰川水系宍喰川 洪水浸水想定区域図(計画規模)

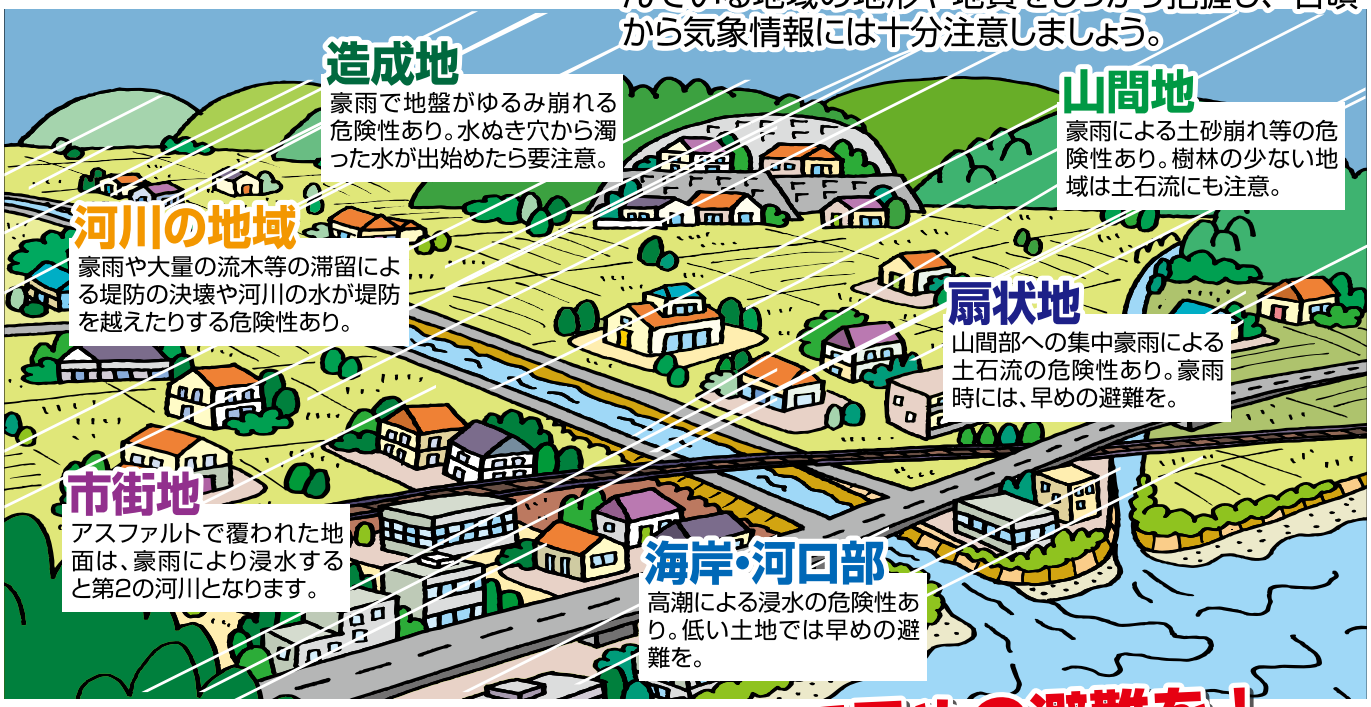


徳島県ホームページより

水害

大雨や台風のときには

台風や豪雨の威力には計り知れないものがあり、人命や財産等に大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の地形や地質をしっかり把握し、日頃から気象情報には十分注意しましょう。



避難の心得

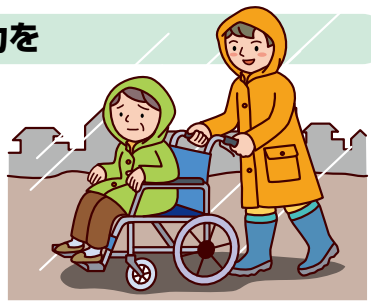
ゆとりを持って早めの避難を！

避難勧告や避難指示があった場合には、本冊子に掲載してある避難所に避難しましょう。なお、指示された避難所への避難が困難な場合、または、雨の降り方や浸水状況により身に危険を感じた場合には、近くの頑丈な2階建て以上の建物に自主的に避難しましょう。



高齢者などの避難にご協力を

高齢者や子ども、病気の人は、早めの避難が必要です。近所の高齢者や子ども、病気の人などの避難に協力しましょう。



マンホールにご注意

大雨により、マンホールの蓋が外れることがあります。危険ですから近寄らないでください。

正確な情報収集を

ラジオ・テレビからの水防情報、気象情報には十分注意しましょう。



避難時には水の流れにご注意

洪水による水の流れが場所によっては相当速いことが予想されます。避難時には、その水流の速さにも十分注意するとともに、2人以上での行動を心がけましょう。



車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合を除きやめましょう。

日頃から次のことを行ってください

【安全な避難路の確認】
避難所までの経路(避難路)はあらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。
【持出品の事前準備を】
避難するときの荷物(ラジオ、懐中電灯、食料、飲料水等)は、事前に準備しておきましょう。

土砂災害

土砂災害による被害の種類

勾配の急な山や崖の多い日本は、土砂災害が発生しやすい地形的な特徴をもっています。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と自分が住んでいる土地についての知識を得ておくことが大切です。

急傾斜地（がけ崩れ・山崩れ）



地面にしみ込んだ雨水が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い。

土石流



谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々とのみ込み、壊滅させていく。

地すべり



脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へと移動する現象。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路、鉄道などに大きな被害をおよぼす。

命を守るために知っておきたい3つのポイント

1. 住んでいる場所が「土砂災害」が起こりやすい場所かどうか確認を。
2. 雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意。
3. 少しでも危険を感じたら迷わず避難を。

土砂災害は予測が難しく、避難勧告の発令が間に合わないことも…。自分の命、家族の命を守るためには早めの避難が重要です。



雨の強さと降り方

1時間雨量（ミリ）	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	災害発生状況
10以上～20未満	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20以上～30未満	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる		側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る		道路が川のようになる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要 都市では下水管から雨水があふれる
50以上～80未満	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	傘は全く役に立たなくなる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する
80以上～	息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感ずる			雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

[水害・土砂災害] 避難情報と防災気象情報

早めの避難を！ 水害・土砂災害
5段階の警戒レベル



●各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

●警戒レベル5ではすでに災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。警戒レベル3や警戒レベル4で、安全・確実に避難しましょう。

高齢者等は避難

全員避難

●避難情報等

	1	2	3	4	5
	警戒レベル				
避難情報等	**早期注意情報**	**洪水注意報 大雨注意報等**	**避難準備・ 高齢者等避難 開始**	**避難勧告** ※**避難指示(緊急)** (※地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合等に発令)	**災害発生情報** 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令
	気象庁が発表		市町村が発令		
避難行動等	災害への心構えを高めましょう。	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	**すでに災害が発生している状況です。** 命を守るための最善の行動をとりましょう。

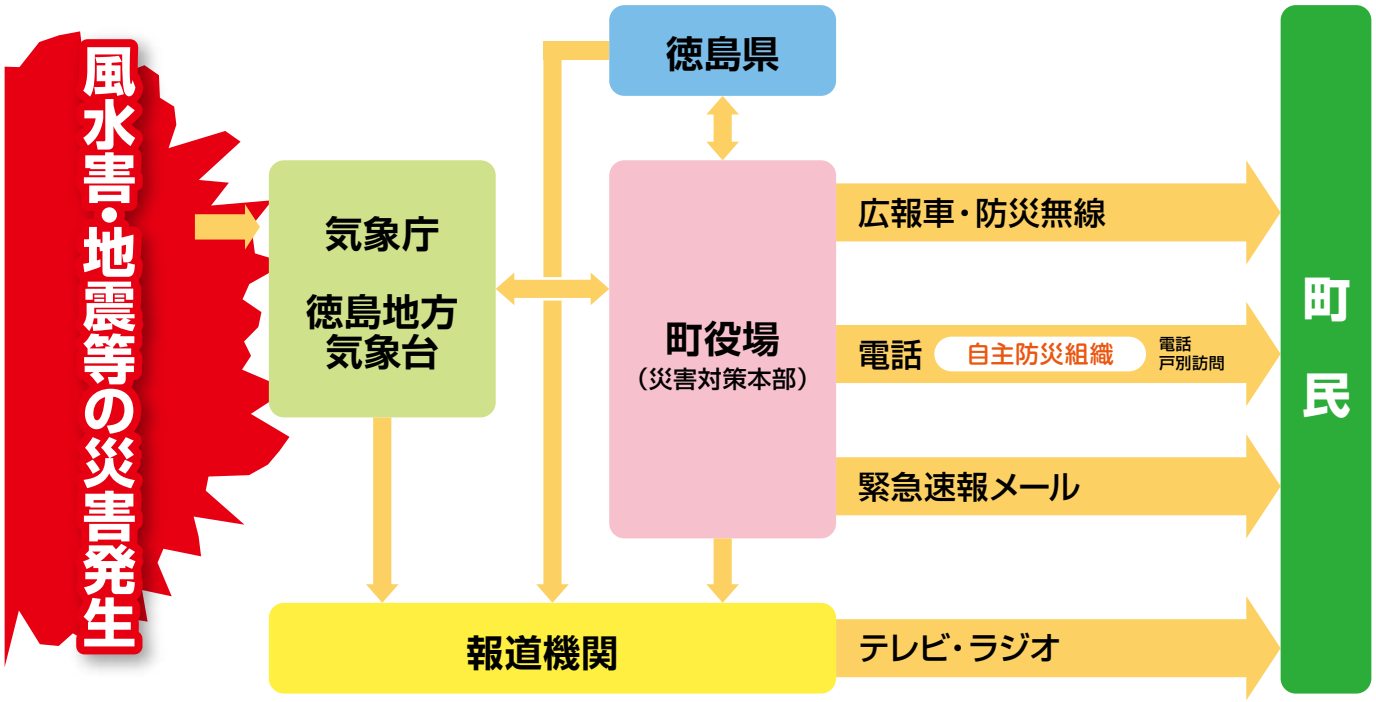
●防災気象情報　警戒レベル相当情報（例）

警戒レベル3相当情報	警戒レベル4相当情報	警戒レベル5相当情報
氾濫警戒情報 洪水警報　等	**氾濫危険情報 土砂災害警戒情報　等**	**氾濫発生情報 大雨特別警報　等**

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考となる情報です。

避難情報の伝達

避難情報の伝達方法



緊急速報メールについて



海陽町では、避難情報をスマートフォン・携帯電話に一斉に送信する「緊急速報メール」を導入しています。受信設定が必要な機種がありますので、あらかじめ確認しておいてください。

入手できる防災気象情報



気象庁徳島地方気象台
気象警報・注意報、雨雲などの動き、洪水・土砂災害・浸水害などに関する情報
https://www.jma-net.go.jp/tokushima/

徳島県総合地図提供システム
洪水浸水想定区域、津波災害警戒区域、土砂災害警戒区域等の最新状況
https://maps.pref.tokushima.lg.jp/



徳島県水防・砂防情報マップ
水害リスクマップ、土砂災害リスクマップなど
https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/map/

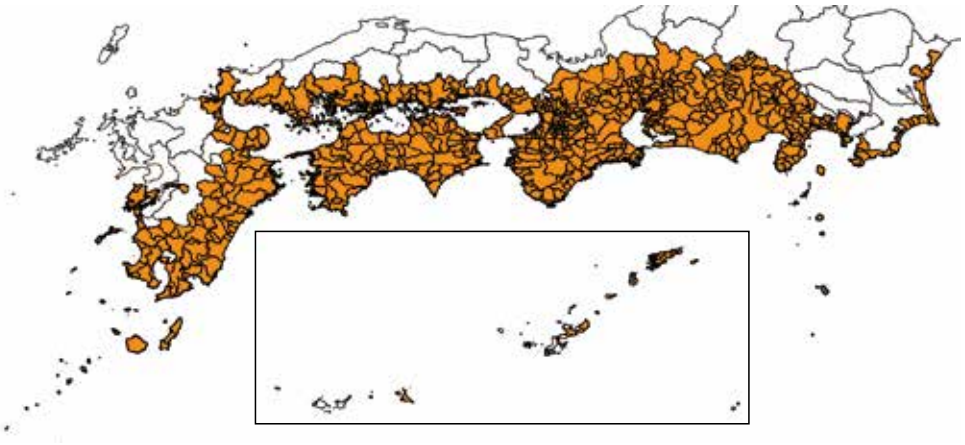
海陽町ホームページ
海陽町防災のしおりに掲載されている内容
https://www.town.kaiyo.lg.jp/

南海トラフ地震 ～その時の備え～

南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

■南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域

南海トラフ地震防災対策推進地域



指定基準の概要

- ■震度６弱以上の地域
- ■津波高３m以上で海岸堤防が低い地域
- ■防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

南海トラフ地震が発生したら・・・

突然の揺れ

地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

家庭で

頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる



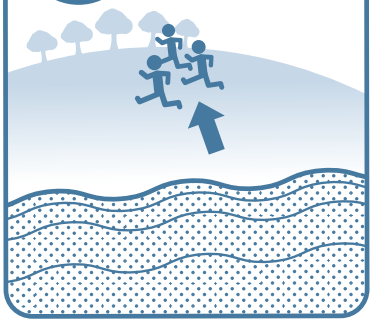
屋外で

ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる



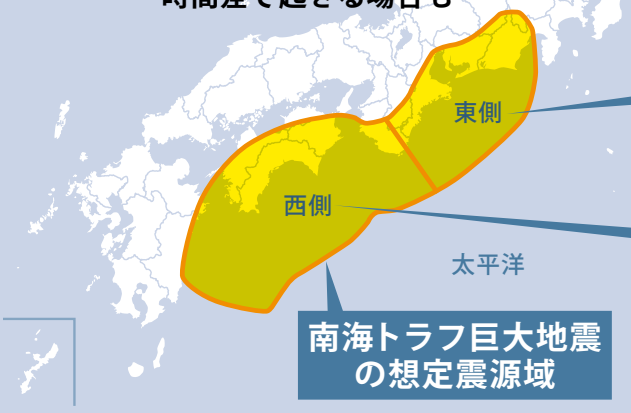
沿岸部で

津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する



地震は一度では終わらないかも

～時間差で起きる場合も～



〔過去事例〕

1854年 安政東海地震	1944年 昭和東南海地震
M8.6	M8.2
約32時間後	約２年後
M8.7	M8.4
1854年 安政南海地震	1946年 昭和南海地震

※M はモーメントマグニチュード
※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。

南海トラフ地震 臨時情報

時間差で発生する巨大地震に備えましょう
～南海トラフ地震臨時情報～

- 南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- 政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ

発生後

南海トラフの想定震源域またはその周辺で
M6.8以上の地震が発生

南海トラフの想定震源域のプレート境界面で
通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性

発生から5分～30分後

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

防災対応をとる必要あり

- プレート境界のM8.0以上の地震（※1）
- M7.0以上の地震（※2）
- ゆっくりすべり（※3）

必要なし

- それ以外

2時間程度～1週間※

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）

■日頃からの地震への備えを再確認する等
■津波からの避難が間に合わない一部の地域では引き続き1週間避難を継続



国からの呼びかけ等に従って行動を

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

■日頃からの地震への備えを再確認する等



南海トラフ地震臨時情報（調査終了）

■通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意

※ゆっくりすべりが観測された場合は、それが収まったと評価されるまで

1週間～2週間

・警戒措置を解除し、さらに1週間、地震への注意措置をとる。

■日頃からの地震への備えを再確認する等

■地震の発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意



2週間～

■地震の発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意

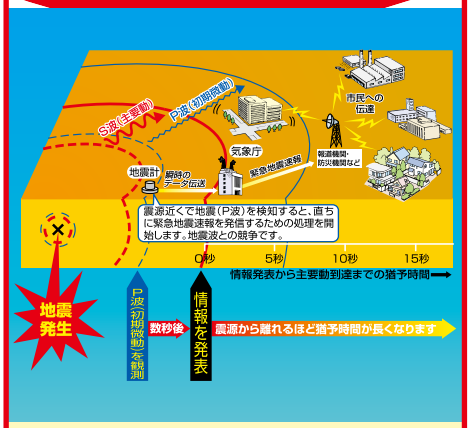
※1　想定震源域のプレート境界でM8.0以上の地震が発生（半割れ）
※2　想定震源域、またはその周辺でM7.0以上の地震が発生（ただし、プレート境界のM8.0以上の地震を除く）（一部割れ）
※3　住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など（ゆっくりすべり）

内閣府「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応リーフレット」より転載

地震発生後の避難

緊急地震速報

緊急地震速報は、地震の発生直後に各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。



○「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。
地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします。

○ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

気象庁ホームページ

https://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/

グラッ！地震発生

南海地震では
約100秒～180秒つづきます

まず、身を守る

クッションや座布団などで頭を保護。
丈夫な机やテーブル下などに隠れる場合はテーブルの足をしっかり持つこと。



非常脱出口の確保

玄関、窓を開けて逃げ口を確保。



揺れがおさまったら
津波の危険地

揺れがおさまったら
家族の安全確認

靴または底の厚いスリッパを履く



靴または底の厚いスリッパを履き、ガラスの破片や散乱物から足を守る。

家族の安全確認

倒れた家具の下敷きになっていないか確認。

火元の確認

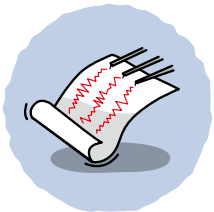
ガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。
もし火が出ていたら、あわてずに初期消火を。



こんな現象が起こる

震度0

震度計のみで観測でき、人体には感じない。



震度1

屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。



震度2

吊り下げ型の電灯や障子などがわずかに揺れる。



震度3

電線が少し揺れ、棚の食器が音を立てることがある。



行動マニュアル

...うてただちに
...域はすぐ避難

余震に注意しつつ
隣近所の安全確認

隣近所への声かけ

けが人、行方不明者がいないかを確認する。



火災時には協力して初期消火

津波による浸水の恐れのない地域では、大声で知らせて、消火器、バケツリレーなど近隣で協力して初期消火を。



避難場所到着から3日

デマにまどわされず、
正確な情報を収集

避難後は助け合いの
心で行動を

正しい情報を聞く

ラジオ等で正確な情報を収集。
役場、消防、警察、自主防災組織の情報を確認。



電話は緊急連絡を優先

安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル」等を活用する。



災害時要援護者を支援

家屋倒壊の危険があればすぐに避難

地域ぐるみで協力して応急救護の体制を

倒壊した家やその危険性のある家には入らない

水・食料の確保

いざというときのために、日頃から最低でも3日分の飲料水と食糧の備蓄を。



災害情報、被害情報の収集



地震の震度

震度4

電線が大きく揺れ、花瓶など座りの悪い物が倒れることがある。



震度5強

テレビが台から落ち、タンスや自動販売機が倒れることがある。



震度6強

立っていることができず、固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。



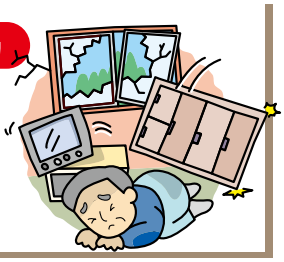
震度5弱

食器類や書籍が落ち、窓ガラスが割れることがある。



震度6弱

かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。



震度7

耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破損するものがある。



津波

津波から身を守る大原則は
すぐ避難

津波に対する備え

- 強い地震（震度4程度以上）を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆったりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難しましょう。その際、時間的な猶予がある限り、できる限り高く安全な場所を目指すという姿勢が重要です。
- 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所に避難しましょう。





- 避難にあたっては、徒歩によることを原則とします。
- 正しい情報をラジオ、テレビ、広報車、防災行政無線などを通じて入手してください。



- 津波注意報でも、海水浴や磁釣りは危険なので行わないでください。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめないでください。
- 津波は第一波よりも第二波以降の方が大きくなる可能性があります。

津波十訓

津波の発生を阻止することはできないが、津波災害は最小限にすることが可能である。ましてや貴い人命は絶対に護らなければならない。そのためには、まず住民各人が自分の身を守るという姿勢が必要である。

1. 南海地震津波の最高潮位標識をみよ。それより高い津波もあることに注意せよ。
2. 非常時の最小限の持ち出し品の準備を日頃よりおこたるな。
3. わが家の緊急時の避難道、避難場所を日頃より定めておけ。
4. 携帯ラジオ等を常備し、停電時でも正確な情報を知れ。デマにまどわされるな。
5. 真剣に防災訓練に参加せよ。日頃の訓練、それが緊急時にわが身を救うと心得よ。
6. 「津波警報」がでれば、直ちに近くの高いところに避難せよ。もし、津波が来なかったら幸いと思え。
7. 大地震のあと、直ちに津波が襲来すると思え。津波の来襲前に海水は必ずひくとは限らない。
8. 大地震のあと、車で防潮提外の埋立地に入るな。門扉が閉じられ、車も命もなくすことがあることを知れ。
9. 津波は必ず数回やってくる。避難後、警報が解除されるまで避難所で待機せよ。命より大切なものはない。
10. 沖で地震を感じたら、直ちに湾外の深いところへ船を移動せよ。湾内では直ちに下船し緊急避難せよ。

【徳島大学名誉教授　村上仁士先生監修】

非常持出品・備蓄

準備できたものは、チェックしましょう！

非常持出品

常備薬・救急セット



包帯、ガーゼ、バンソウコウ、傷薬、消毒薬、胃腸薬、はさみなど軽いケガや病気に応急処置ができるもの。

非常用食料



米（アルファー米など）、乾パン、インスタントラーメン、クラッカー、缶詰、飲料水など。

応急生活用品



貴重品（現金など）、タオル、ちり紙、洗面用具、毛布、下着、上着類、軍手、雨具、ビニール袋、ナイフ、ロープ、ラジオ、ろうそくなども準備。

すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう！

備蓄品

災害復旧までの数日間（最低3日）分準備するもの

非常食品・飲料水



備蓄の量としては、3日分の水や食料が目安です。

カセットコンロ



お湯を沸かす道具として、燃料も忘れずに。

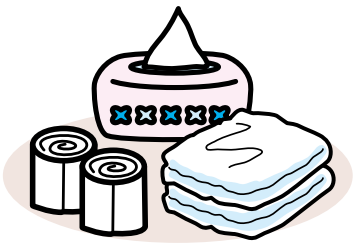
その他生活用品



洗面用具、ろうそく、新聞、なべ、バケツ、毛布など。

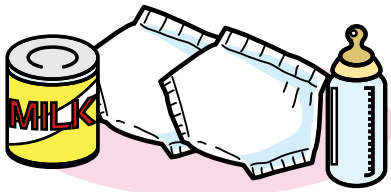
高齢者や体の不自由な方・赤ちゃんがいる家庭

介護・看護用品・おむつ



看護用品、紙おむつやティッシュペーパーなど。

粉ミルク・ほ乳瓶・おむつ



ミネラルウォーターを忘れずにご用意ください。お子さんの状況によっては離乳食も準備。

常備薬



常備薬、バンソウコウ、胃腸薬など。

災害用伝言ダイヤル・伝言板

災害用伝言ダイヤルの使い方 音声

震度6弱以上の地震など大災害発生時に利用可能となるNTTの災害用伝言ダイヤルサービス。
家族や友人が被災した場合の安否確認や連絡に役立ちます。

伝言の録音方法

1 7 1 にダイヤルする

↓

1

↓

録音する場合

「被災者」は自分の番号を、
「被災者以外」の人は被災者の電話番号（市外局番から）
□□□□ □□ □□□□ →伝言を吹き込む（30秒以内）



伝言の再生方法

1 7 1 にダイヤルする

↓

2

↓

聞く場合

「被災者」は自分の番号を、
「被災者以外」の人は被災者の電話番号（市外局番から）
□□□□ □□ □□□□ →伝言を聞く

災害用伝言ダイヤル「171」に関するお問い合わせは、局番なしの「116」番、またはお近くのNTT支店・営業所窓口へ

災害用伝言板の使い方 文字情報

大規模災害などの発生時に、携帯電話・スマートフォン・パソコンなどを利用して伝言の登録・確認ができる伝言板です。災害時は各社の公式サイトのトップ画面に災害用伝言板の案内が表示されます。

登録方法

それぞれのアクセス先のメニューに従って入力してください。

1. 「災害用伝言板」を選択
2. 「登録」を選択
3. 「無事です」などの状態の選択と100 字以内のコメントを入力
4. 「登録」を押して完了

確認方法

それぞれのアクセス先のメニューに従って入力してください。

1. 「災害用伝言板」を選択
2. 「確認」を選択
3. 安否を確認したい人の携帯電話番号を入力
4. 「検索」を押して確認したい伝言を選択

NTT西日本が提供し、パソコンでも使える「WEB171」もあります。

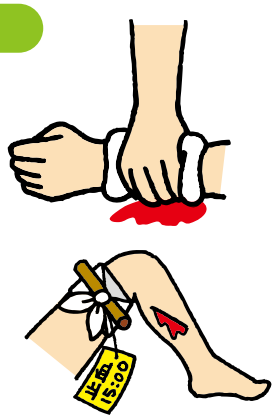
いざという時の応急処置

応急処置　知っておきたい応急手当のポイント

災害発生時の混乱状態では、救急車はすぐにはやってきません。専門的な治療はともかく、初期段階の応急手当は、負傷者のそばにいる人が行わなければならないのです。大切な人の生命を救うことができるよう、応急手当の方法を身に付けておきましょう。

出血がひどいときは

きれいなガーゼやハンカチなどを傷口に当て、手で圧迫するなど応急手当をし、急いで医療機関へ。
（感染症予防のため、ビニール袋に手を入れて押さえるなど、血液に直接触れないように注意する。）



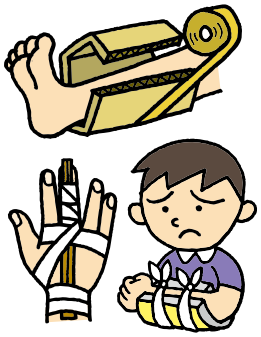
やけどをしたら



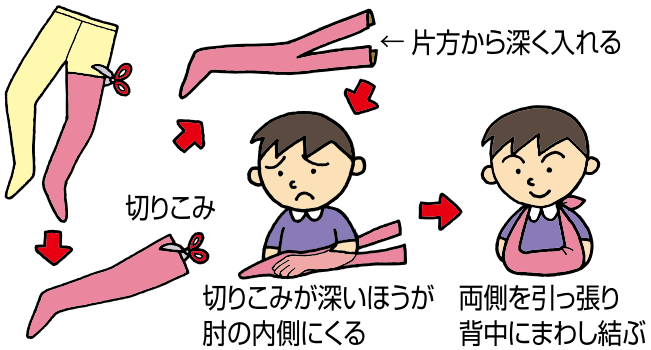
①急いで水道水などの流水で冷やす。
②衣服の上からやけどをした場合は、無理に脱がさず、そのまま冷やす。水ぶくれはつぶさない。
③冷やした後は清潔なガーゼなどで軽く包み、急いで医療機関へ。

骨折の疑いがあったら

①患部を動かさないようにして手当をする。
②患部に副木（なければ板やダンボール、傘、雑誌などでもよい）を当てて固定し、早めに医療機関へ。



ストッキングを使った応急処置



意識がないときは 119番!

①肩をたたきながら耳元で**「大丈夫ですか」「もしもし」**などと呼び掛ける。
②意識がなければ**「だれか来て!」**と助けを求め、119番通報を依頼。一人きりの場合は自ら通報を。

救命講習を受講しよう

救急車が現場に到着するまでの間、救急現場に居合わせた人が応急手当をすることにより、その人の命を救える可能性が高くなります。かけがえのない命を救うためにも救命技術を身に付けましょう。講習については消防署にお問い合わせください。
みんなで積極的に受講し、応急手当の方法を覚えましょう。

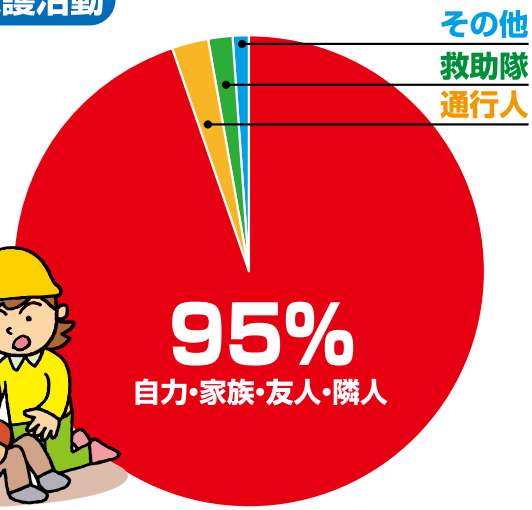


なぜ地域防災が必要なの？

阪神・淡路大震災における住民による救助・救護活動

阪神淡路大震災では、生き埋めや建物等に閉じこめられた人のうち、生存して救出された約95%の方は、自力または家族や隣人に救助されました。





※日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」による

海陽町の取り組み

地域ごとに異なる災害の発生が予想されます。皆さんの自助・共助に基づく減災のため、自主防災組織での防災啓発等を支援します。



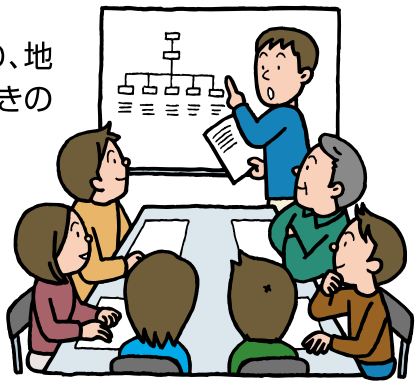
❶ 想定される災害に対して、地域ごとの課題や対策の検討

❷ 防災研修会等の開催

❸ 自主防災組織への支援



災害時には、ご近所の手助けが大きな力となります。
常日頃から、コミュニケーションをとり、地域内のつながりを深め、いざというときの声かけが減災につながります。



災害に対応するには日頃からのコミュニケーションがもっとも大切です。

防災

出来ることから始めてみよう！

災害時になると注目されるボランティア活動ですが、これは何も特別なことをするものではありません。そもそもボランティアとは「自らの意思をもって行動する」という意味で、そこに義務も強要もありません。自分が出来ることを、できる範囲で行えばよいのです。それは災害だけでなく普段の暮らしの中でも出来ることです。あなたに出来るボランティア活動はたくさんあります。積極的に参加してみませんか？



自主防災組織とは

地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を共有して、自主的な防災活動を行う組織。

自助
自分の命は自分で守る

共助
町内会や自主防災組織で協力し合う

公助
行政や防災関係機関による救助・援助等

自助＋**共助**の地域防災力と**公助**で被害を抑えることが重要

●自主防災活動の内容

自主防災活動は、「平常時の活動」と「災害時の活動」に分けられます。

平常時の活動

1. 地域内の安全点検
危険箇所の点検、確認
連絡網の整備
防災用資機材の備蓄、管理

2. 防災知識の普及、啓発
防災研修、防災学習会の実施

3. 防災対策の検討
住宅の耐震化や家具の転倒防止
家庭内備蓄の普及促進

4. 防災訓練
避難訓練、消火訓練、
救急救命訓練、避難所運営訓練

災害時の活動



1. 初期消火
初期消火活動

2. 救出救護
倒壊家屋からの住民の救出

3. 情報の収集、伝達
住民の安否確認、情報収集
役場、警察、消防などへの被害通報や情報伝達

4. 避難誘導
災害時要援護者の避難支援

5. 避難所の管理、運営
避難所の運営、管理
炊き出し



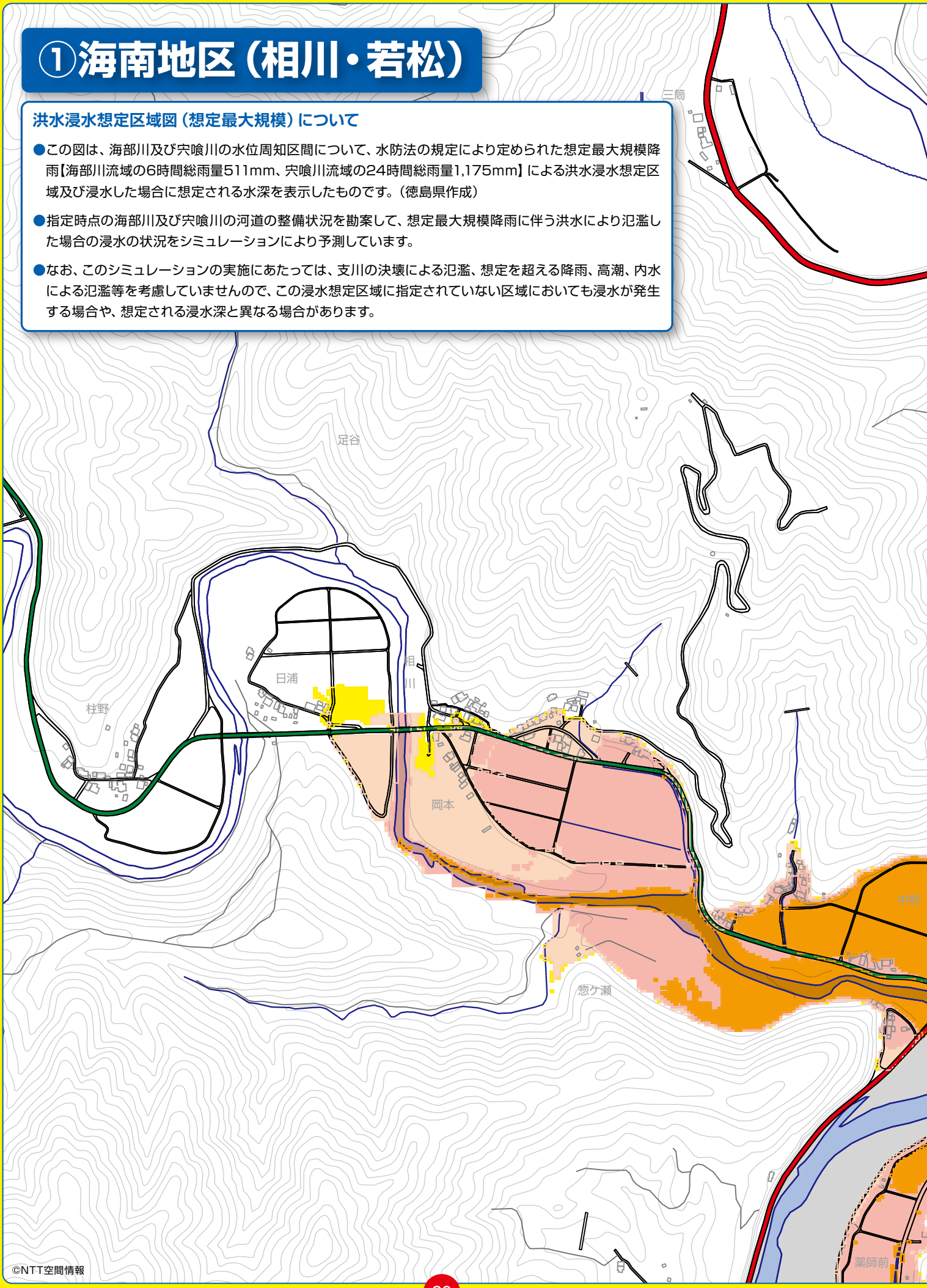
①海南地区（相川・若松）

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

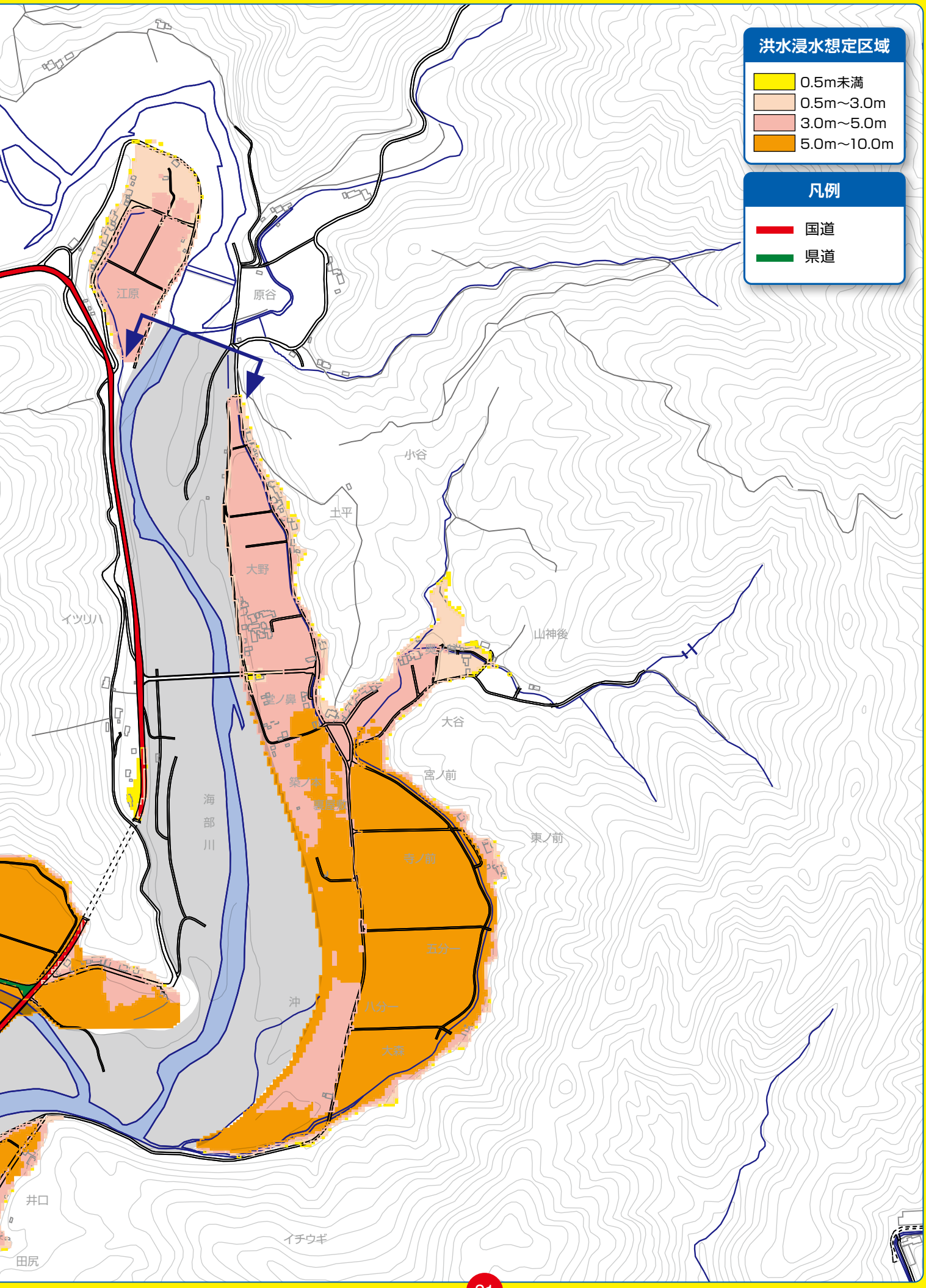
●この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）

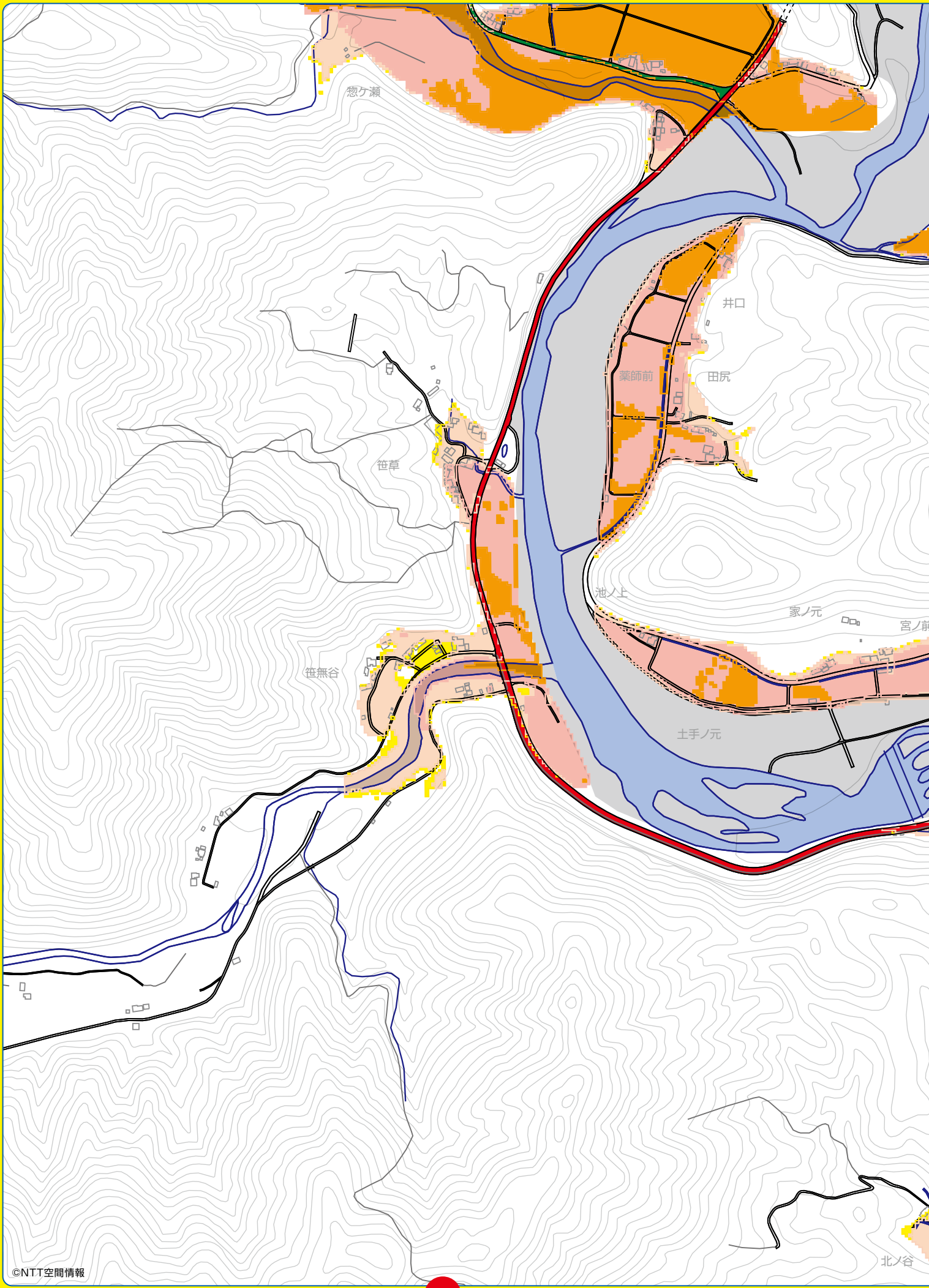
●指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。

●なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。



©NTT空間情報


洪水浸水想定区域
0.5m未満
0.5m～3.0m
3.0m～5.0m
5.0m～10.0m
凡例
国道
県道
江原
原谷
小谷
土平
大野
イツツハ
山神後
大谷
宮ノ前
東ノ前
寺ノ前
五分一
八分一
大森
海部川
井口
イチウギ
田尻



©NTT空間情報

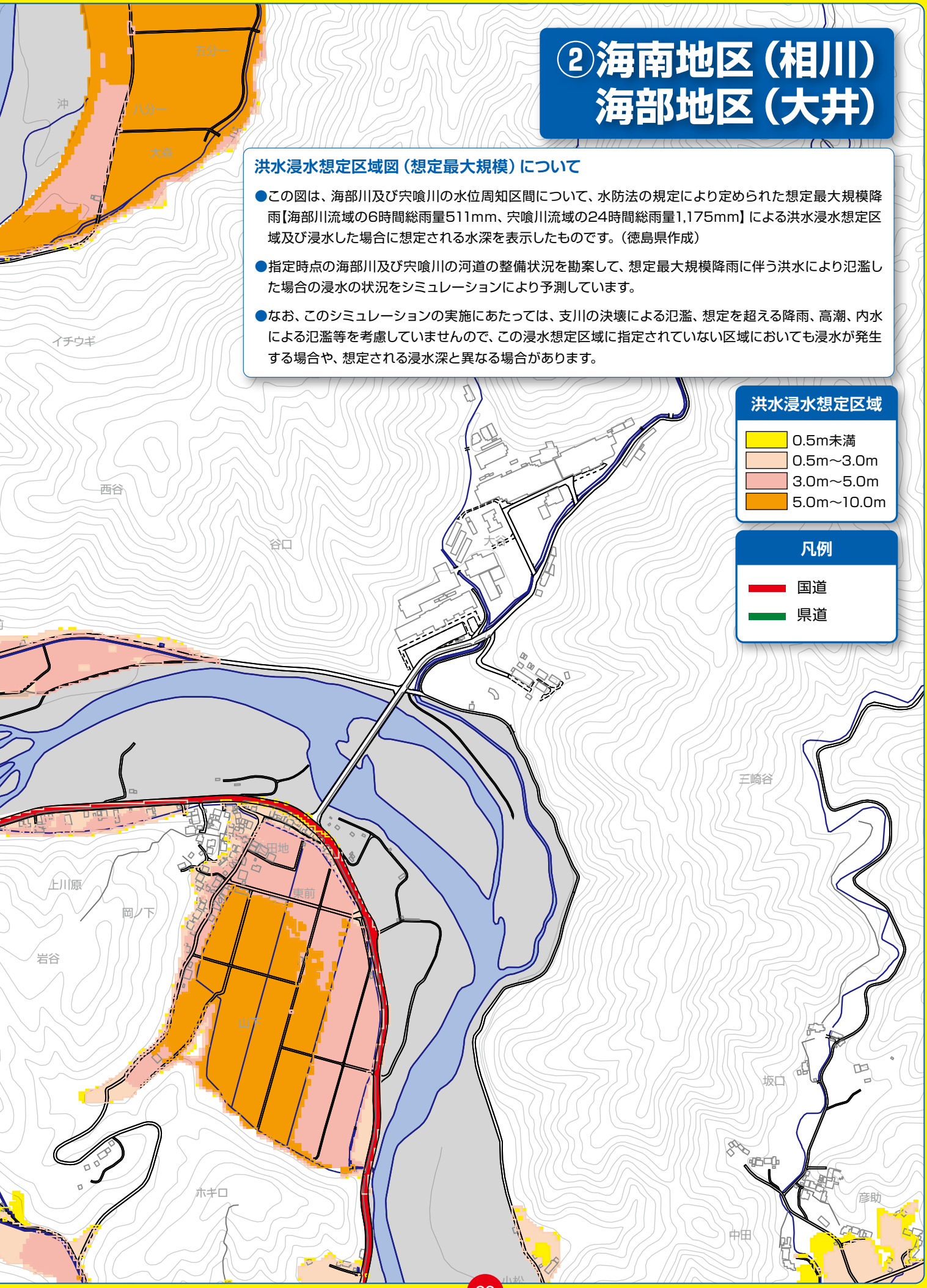
②海南地区（相川）
海部地区（大井）

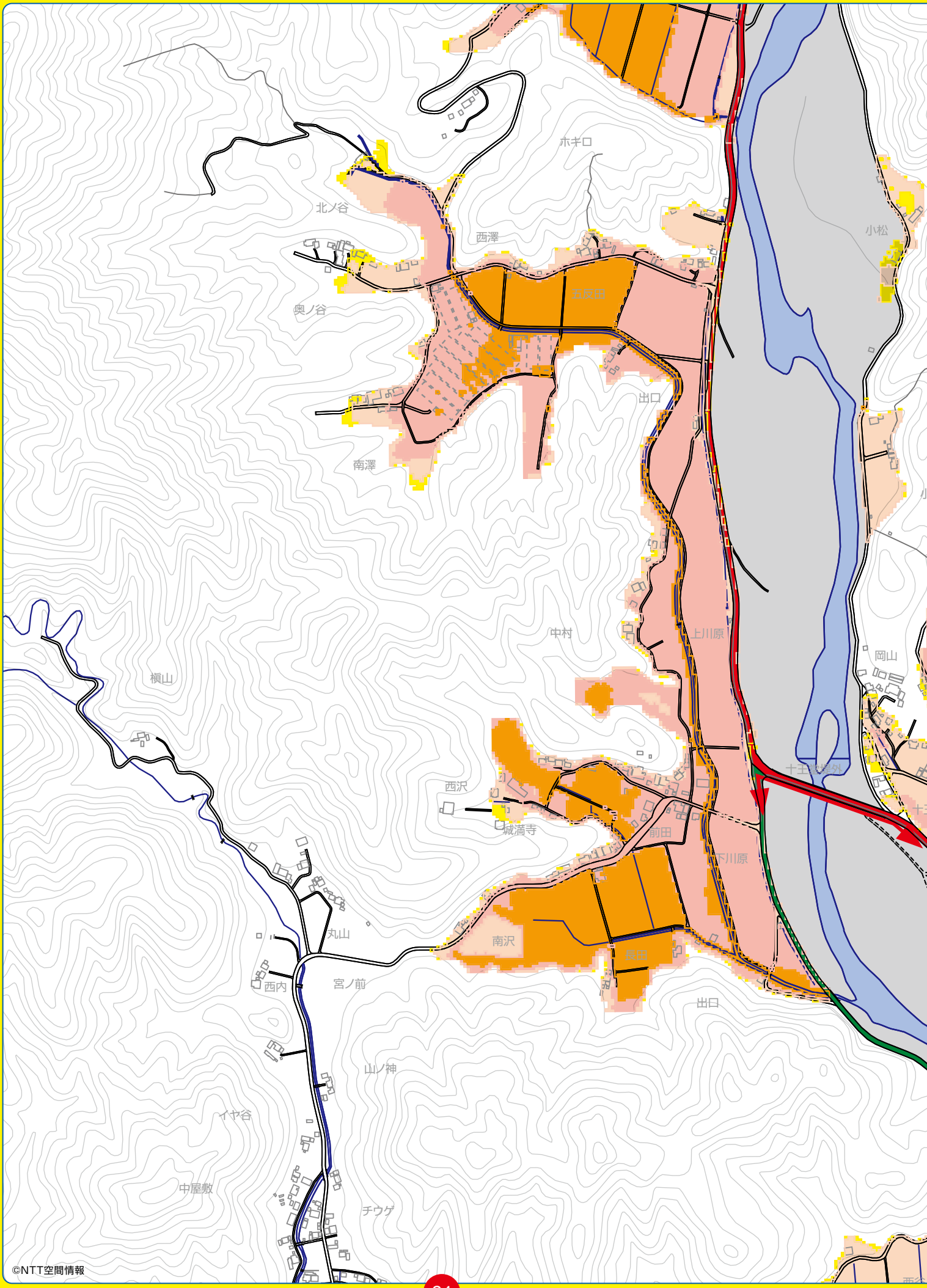
洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

●この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）

●指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。

●なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。




ホギロ
北ノ谷
西澤
小松
奥ノ谷
五反田
出口
南澤
中村
上川原
槇山
岡山
西沢
城満寺
前田
下川原
丸山
南沢
長田
西内
宮ノ前
出口
山ノ神
イヤ谷
中屋敷
チウゲ

©NTT空間情報



③海南地区（熟田・吉野）
海部地区（吉田・富田）

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

- この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）
- 指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。

洪水浸水想定区域

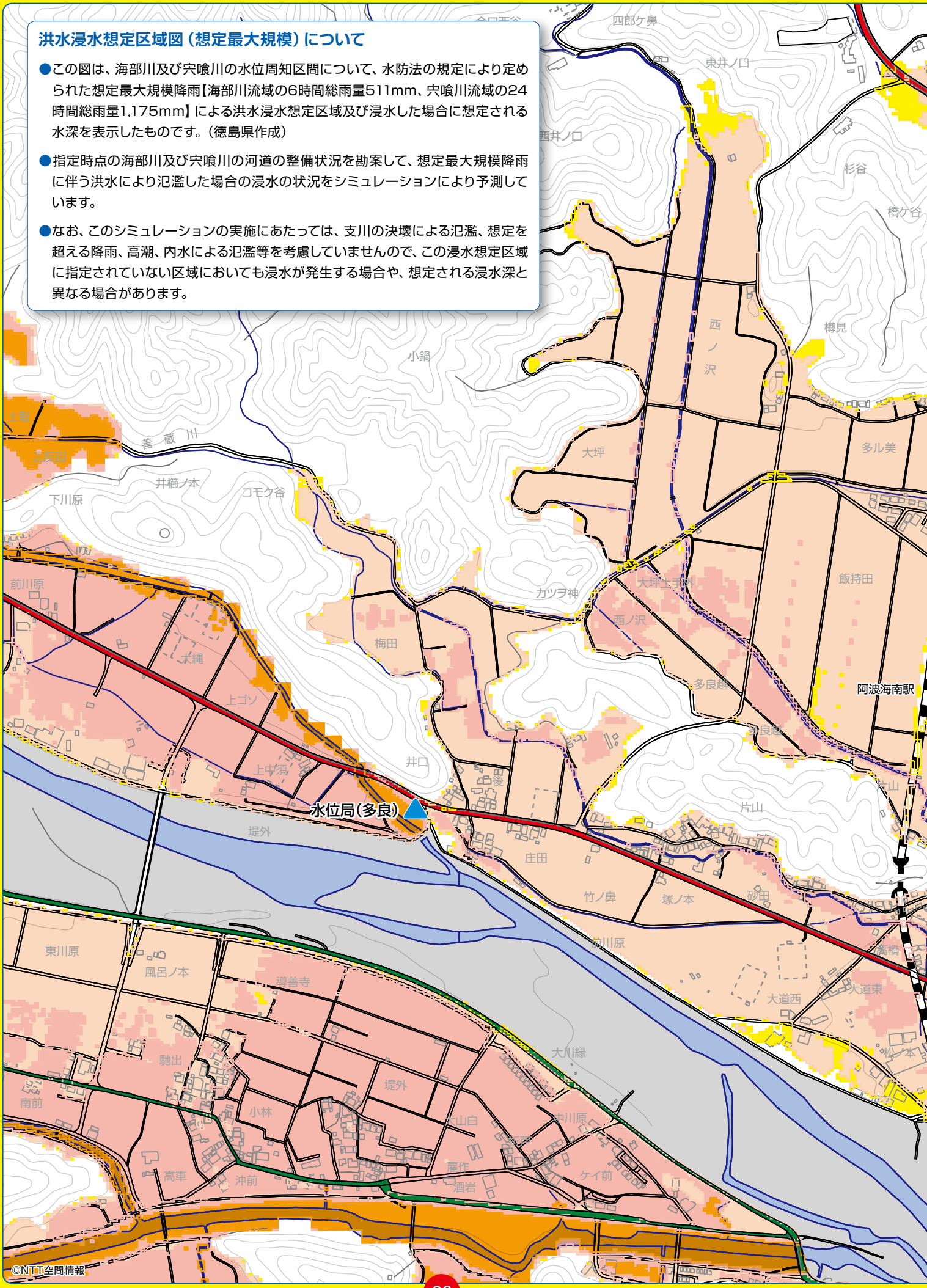
- 0.5m未満
- 0.5m～3.0m
- 3.0m～5.0m
- 5.0m～10.0m

凡例

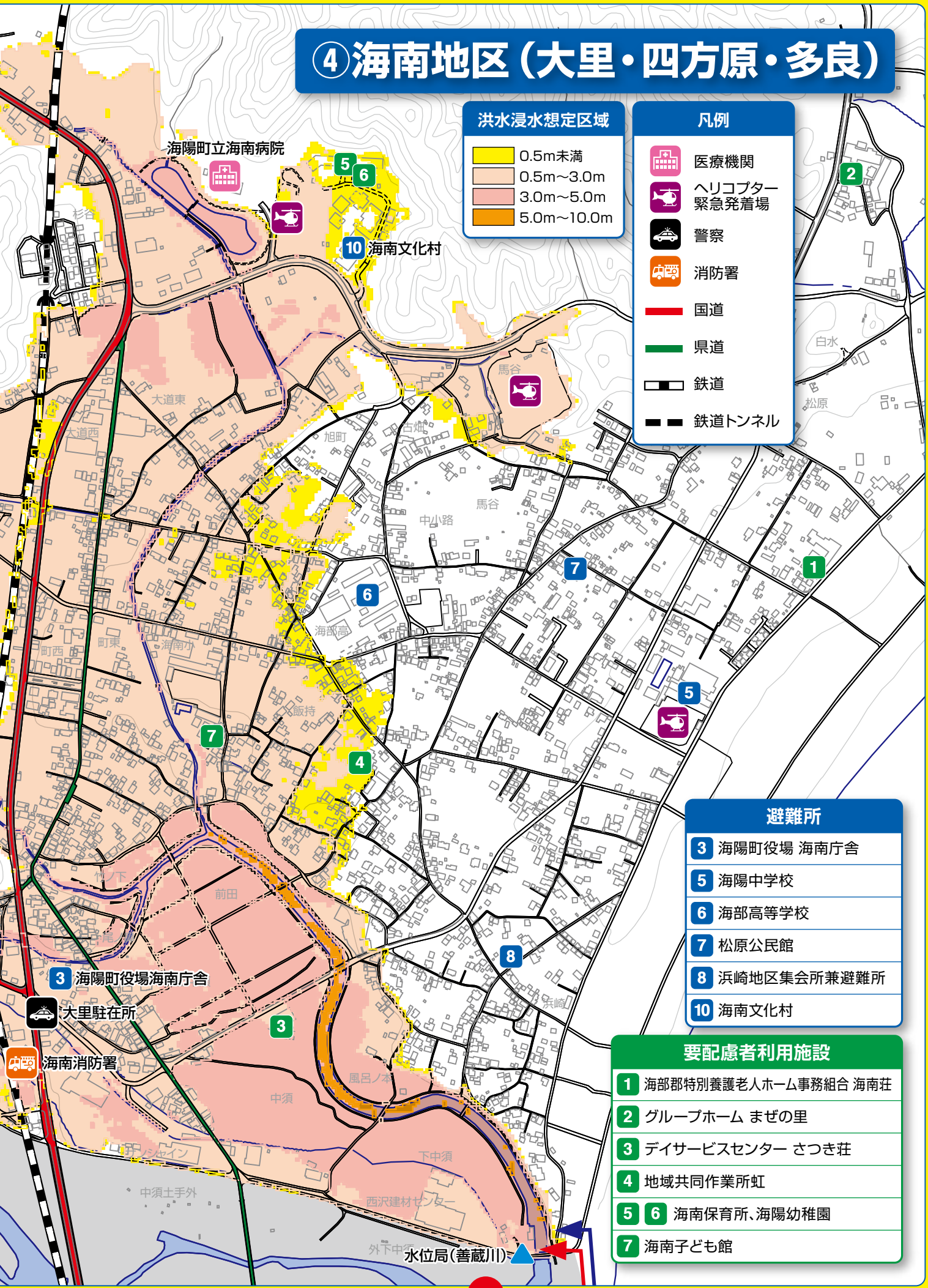
- 国道
- 県道

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

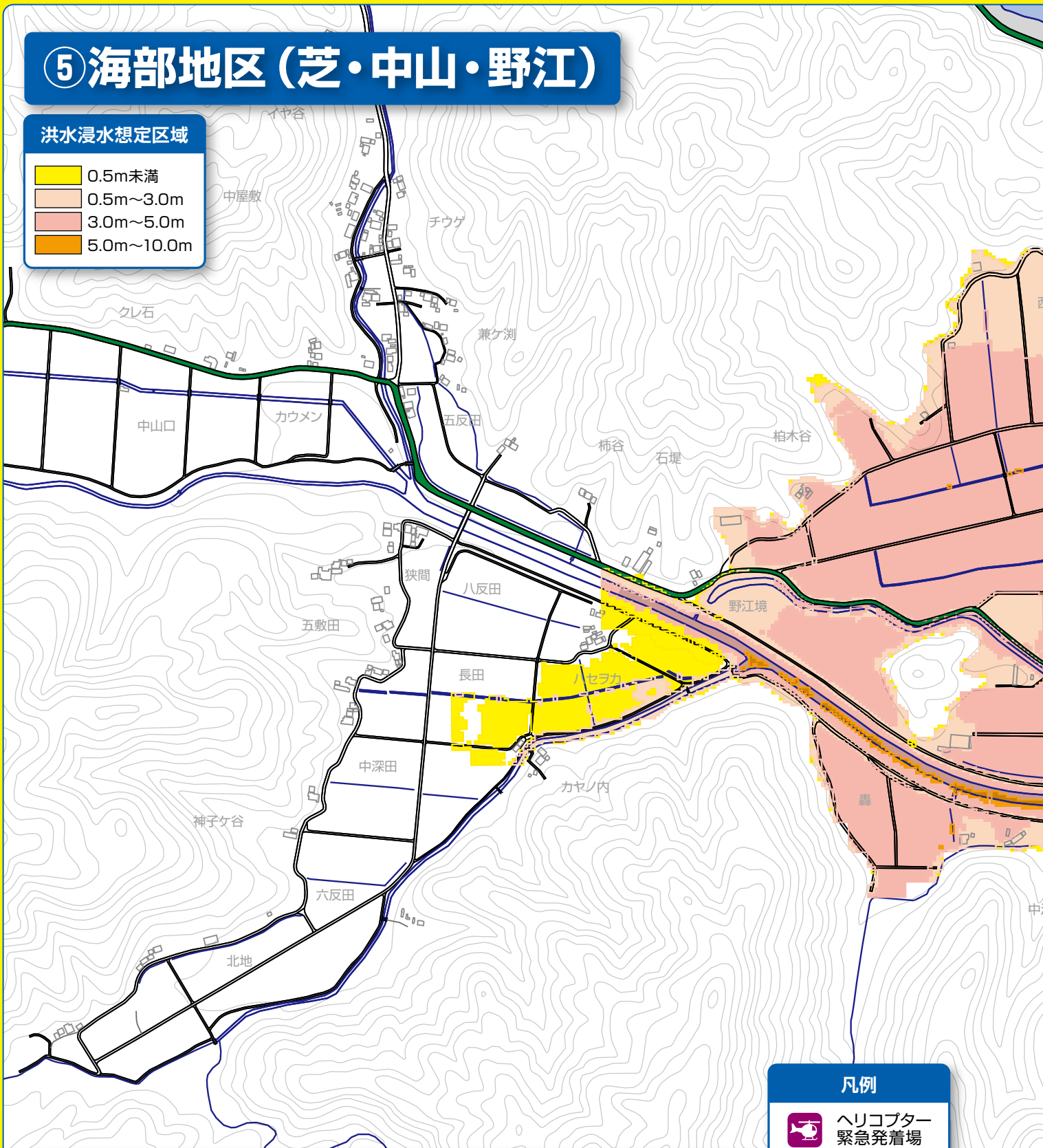
- この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）
- 指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。



④海南地区（大里・四方原・多良）



⑤海部地区（芝・中山・野江）



洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

- この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）
- 指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。

凡例

- ヘリコプター緊急発着場
- 国道
- 県道

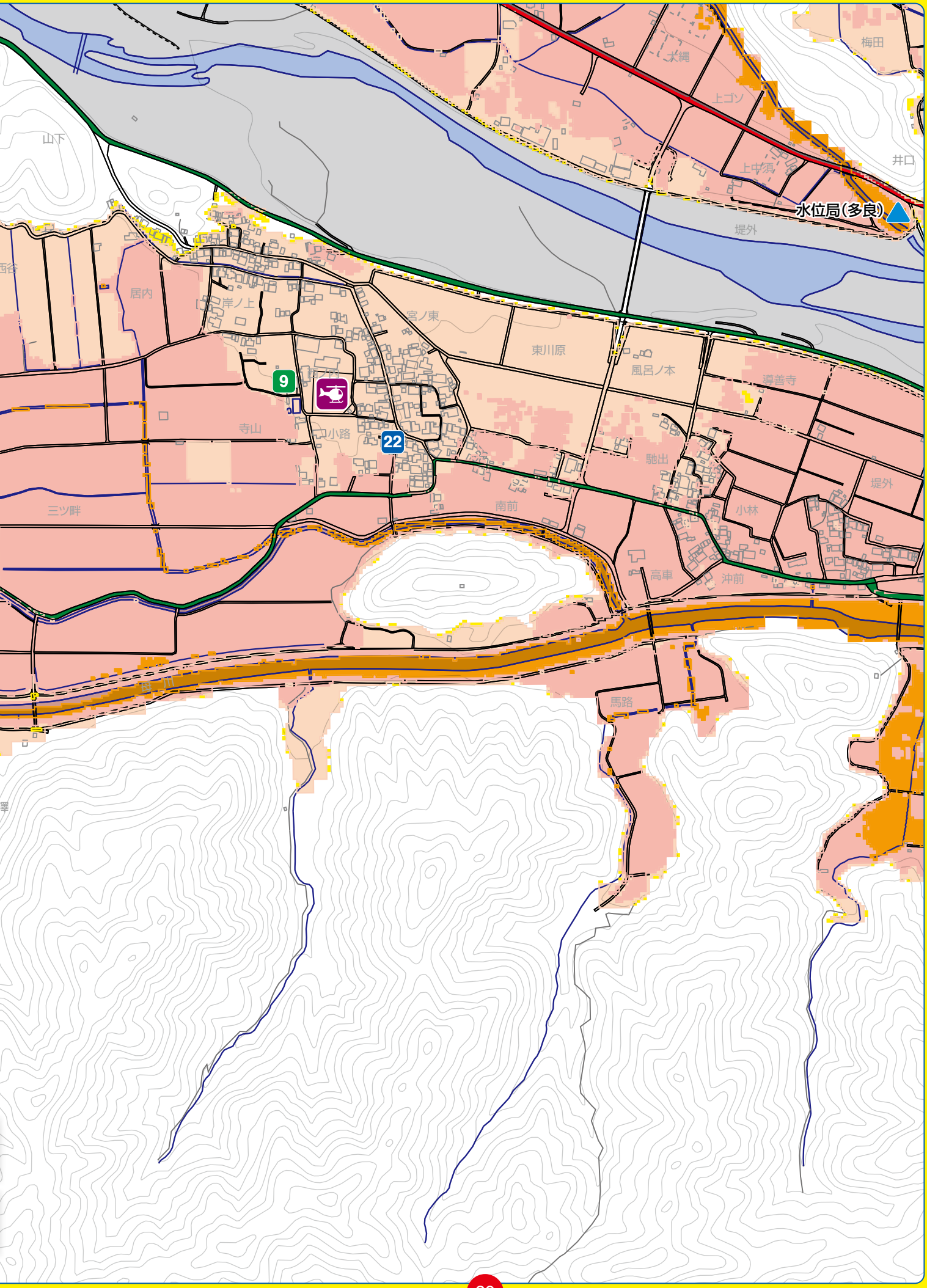
避難所

22 野江老人憩いの家 2階以上

要配慮者利用施設

9 海部西保育所

©NTT空間情報


水位局（多良）
梅田
井口
上ゴソ
提外
山下
居内
岸ノ上
宮ノ東
東川原
風呂ノ本
導善寺
寺山
小路
9
22
駝出
提外
三ツ畔
南前
小林
高車
沖前
馬路



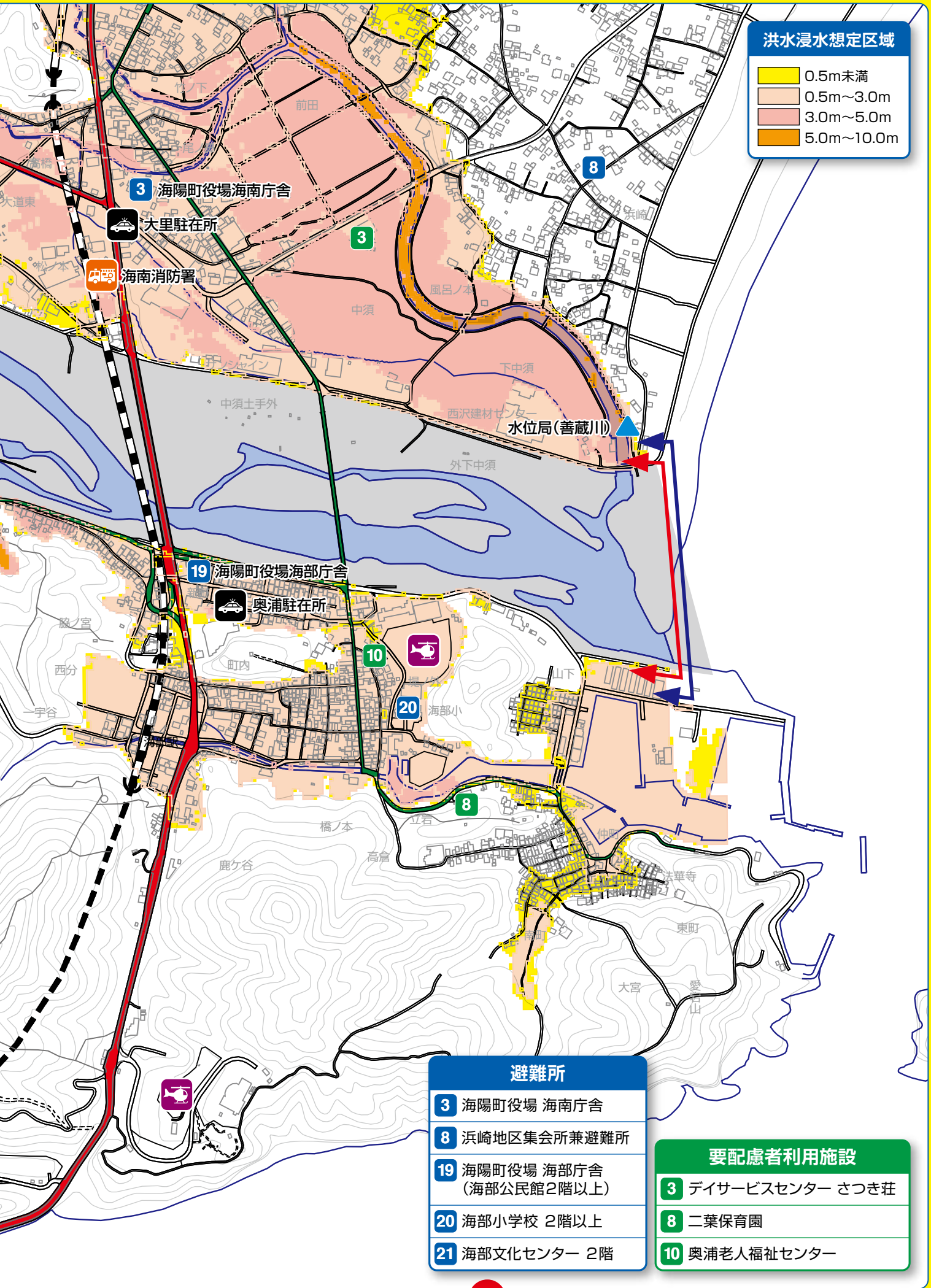
⑥海部地区（奥浦・高園・鞆浦）

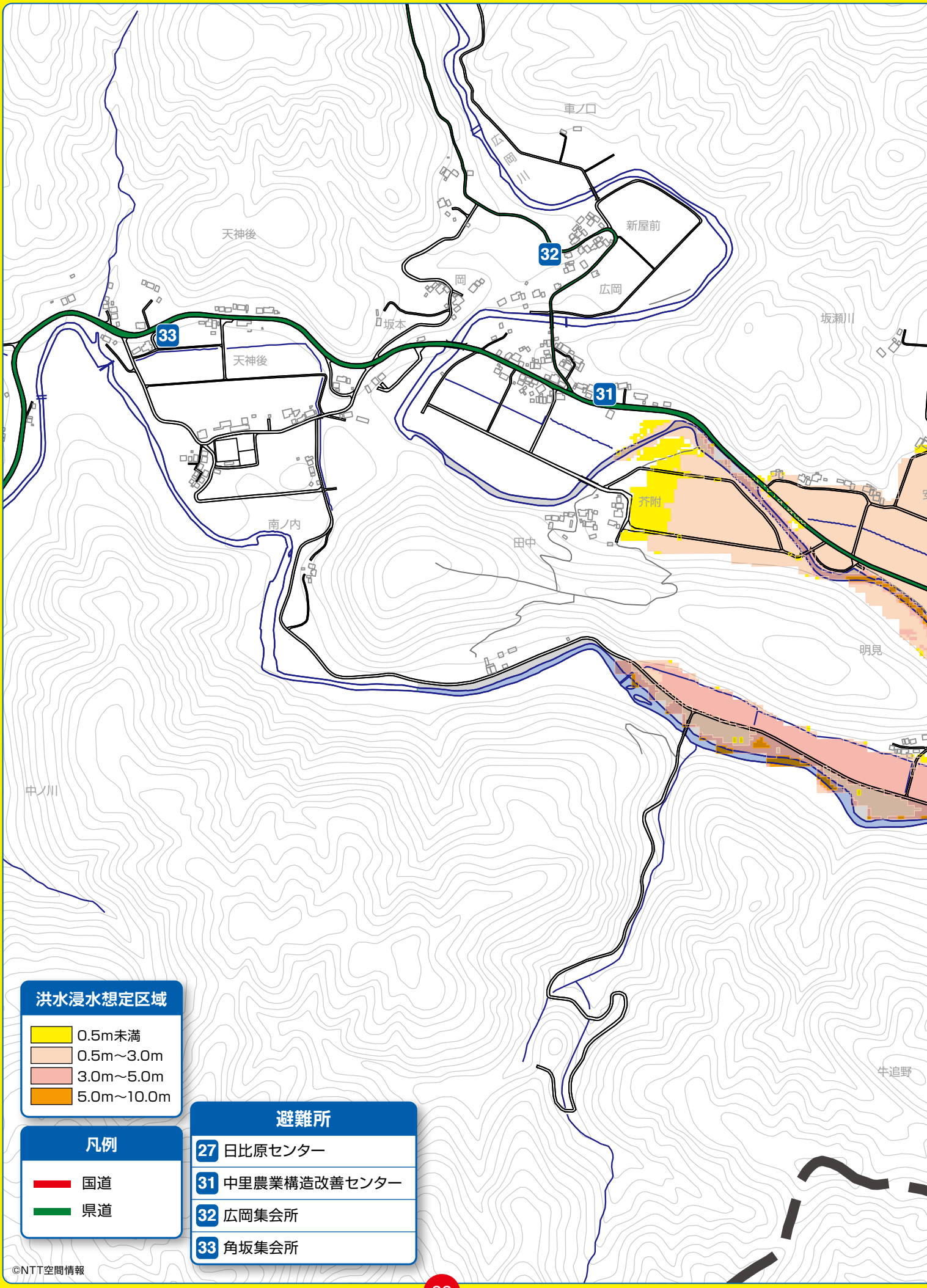
洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

- この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）
- 指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。

凡例

- ヘリコプター緊急発着場
- 警察
- 消防署
- 国道
- 県道
- 鉄道
- 鉄道トンネル


洪水浸水想定区域
0.5m未満
0.5m～3.0m
3.0m～5.0m
5.0m～10.0m
3 海陽町役場海南庁舎
大里駐在所
海南消防署
水位局（善蔵川）
19 海陽町役場海部庁舎
奥浦駐在所
8
10
20
3
避難所
3 海陽町役場 海南庁舎
8 浜崎地区集会所兼避難所
19 海陽町役場 海部庁舎（海部公民館2階以上）
20 海部小学校 2階以上
21 海部文化センター 2階
要配慮者利用施設
3 デイサービスセンター さつき荘
8 二葉保育園
10 奥浦老人福祉センター


車ノ口
広岡川
新屋前
天神後
32
岡
広岡
坂本
坂瀬川
33
天神後
31
芥附
南ノ内
田中
明見
中ノ川
牛追野
洪水浸水想定区域
0.5m未満
0.5m～3.0m
3.0m～5.0m
5.0m～10.0m
凡例
国道
県道
避難所
27 日比原センター
31 中里農業構造改善センター
32 広岡集会所
33 角坂集会所
©NTT空間情報

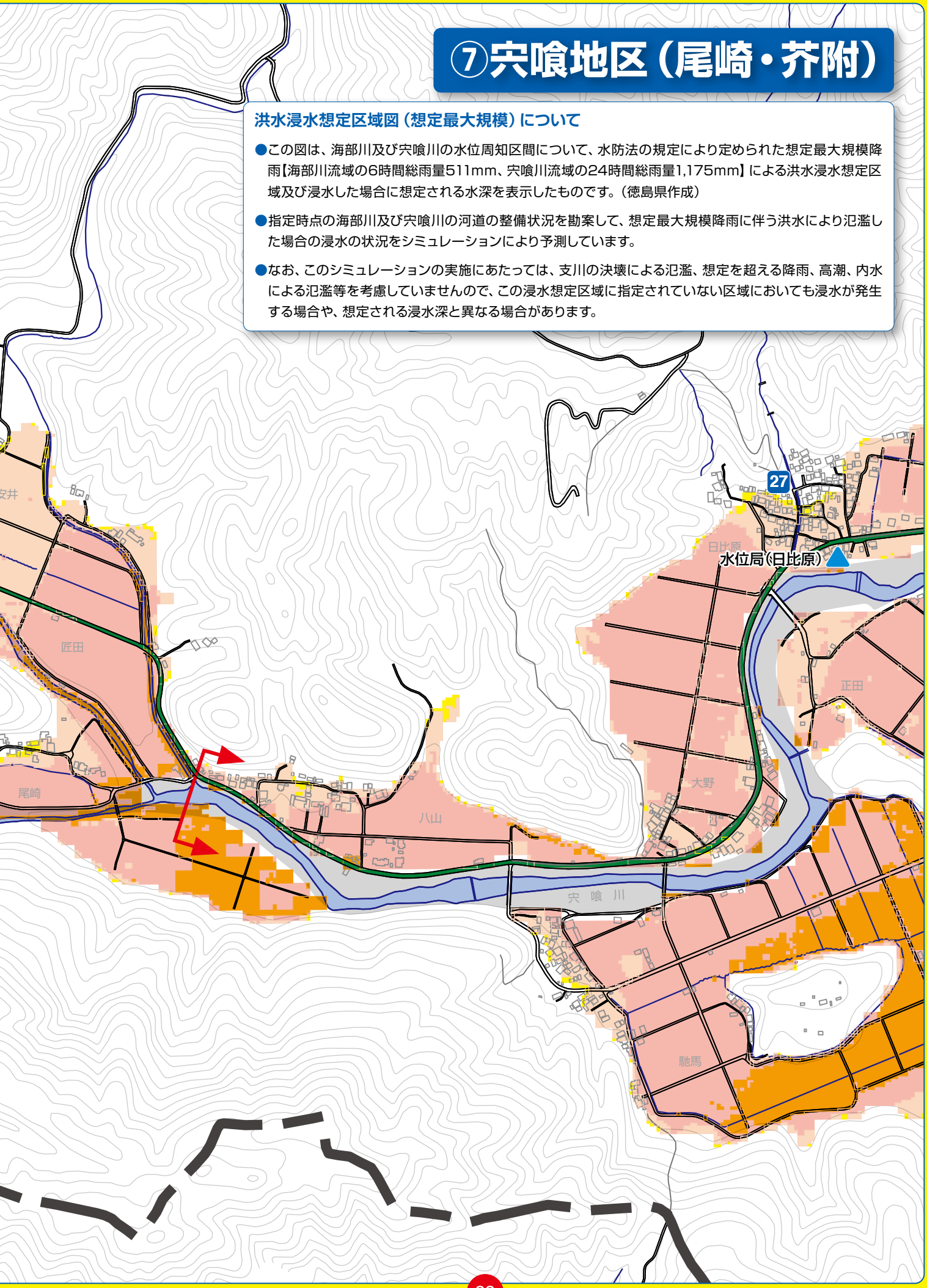
⑦宍喰地区（尾崎・芥附）

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

●この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）

●指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。

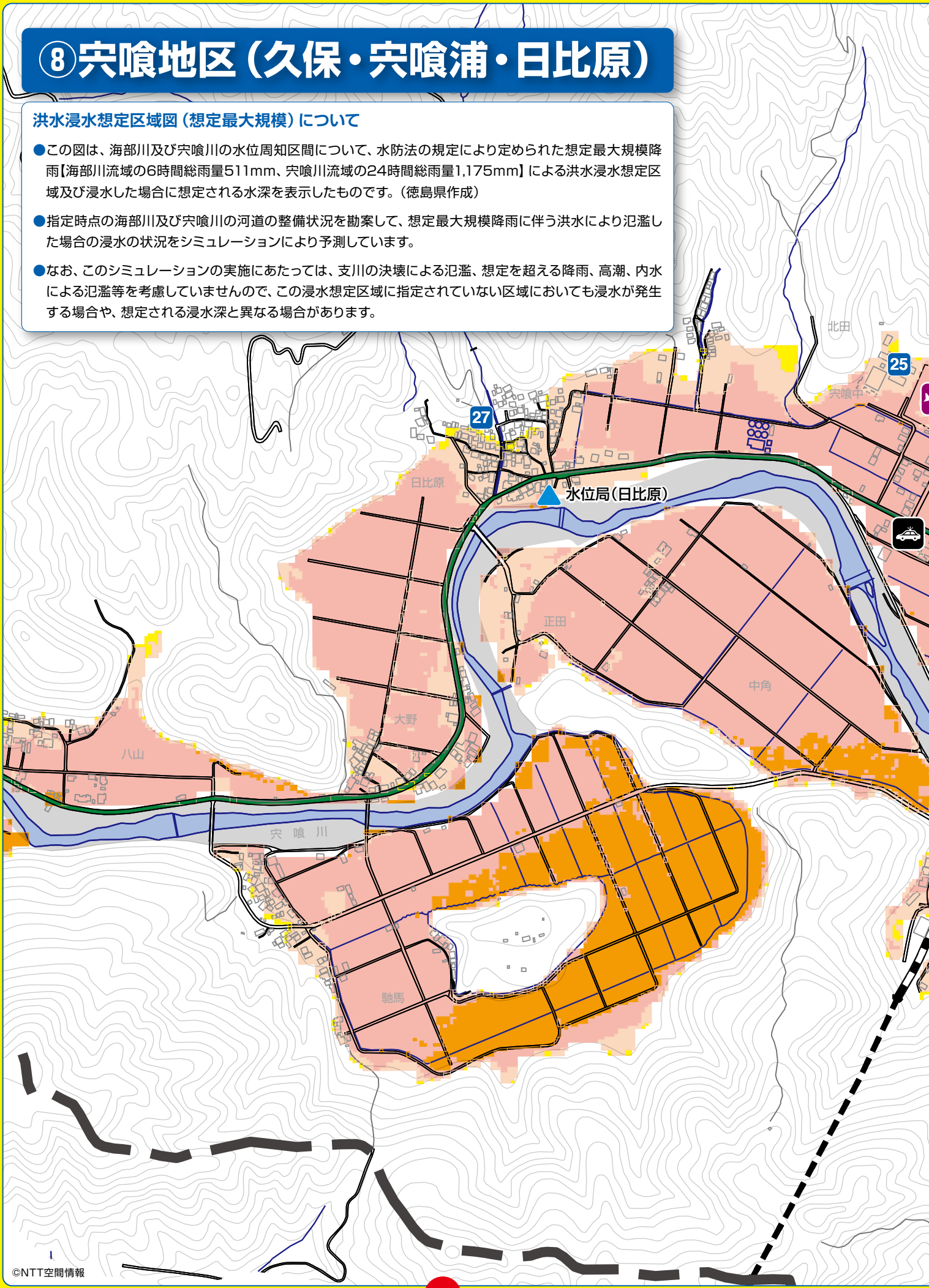
●なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。



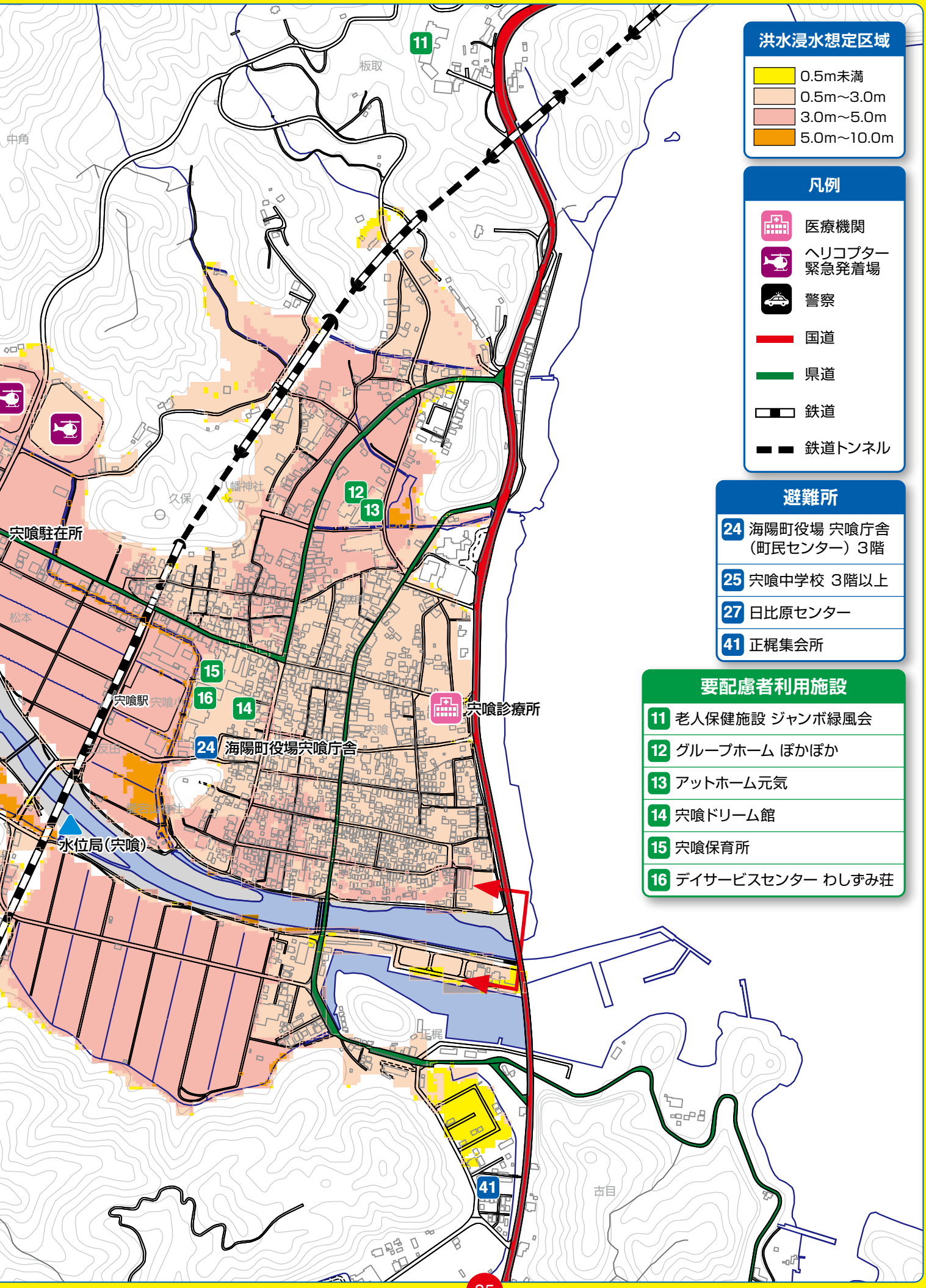
⑧宍喰地区（久保・宍喰浦・日比原）

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）について

- この図は、海部川及び宍喰川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨【海部川流域の6時間総雨量511mm、宍喰川流域の24時間総雨量1,175mm】による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したものです。（徳島県作成）
- 指定時点の海部川及び宍喰川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測しています。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深と異なる場合があります。



©NTT空間情報


洪水浸水想定区域
0.5m未満
0.5m～3.0m
3.0m～5.0m
5.0m～10.0m
凡例
医療機関
ヘリコプター緊急発着場
警察
国道
県道
鉄道
鉄道トンネル
避難所
24 海陽町役場 宍喰庁舎（町民センター）3階
25 宍喰中学校 3階以上
27 日比原センター
41 正梶集会所
要配慮者利用施設
11 老人保健施設 ジャンボ緑風会
12 グループホーム ぽかぽか
13 アットホーム元気
14 宍喰ドリーム館
15 宍喰保育所
16 デイサービスセンター わしずみ荘
宍喰駐在所
宍喰駅
宍喰診療所
24 海陽町役場宍喰庁舎
水位局（宍喰）
板取
久保
松本
正梶
古目

この防災のしおりに関するお問い合わせは

海陽町役場 危機管理課

〒775-0295　海陽町大里字上中須128番地
TEL：0884-73-4163



わが家の防災メモ

突然やってくる災害、あわてないためにすぐに記入しよう！

住所		避難場所と家族の集合場所	
氏名			
電話			

家族連絡先

氏名	電話（勤務先・学校）	住所	メモ

家族データ

氏名	生年月日	血液型	メモ

親戚連絡先

氏名	電話（勤務先・学校）	住所	メモ

緊急連絡先

連絡先	電話	メモ